

令和5年度 事業報告

京都府医学振興会は、「京都府内における医学研究に対する奨励及び助成等を行い、医療水準の向上及び地域社会の福祉の増進に寄与する。」ことを目的として、昭和61年3月に設立され、その後、府民の健康増進及び医学・医療に関する知識の啓発普及を目指した活動を重ね、平成25年4月には公益財団法人に移行した。

令和5年度は、引き続き医学水準の向上及び地域社会の福祉の増進に寄与するため、医学研究に対する奨励及び助成等を行うとともに、医療啓発普及などに関する事業を行った。

また、病気と向き合う子どもに付き添うご家族に癒しと安らぎを提供する滞在施設「 دونالد・マクドナルド・ハウス 京都」の誘致に向けた活動の支援により事業化が決定され、早期の開設に向けて、ドナルド・マクドナルド・ハウス 京都開設募金委員会を立ち上げ募金活動に着手した。

【 I 公益目的事業】

【決算額 29,312,765円】

1 医学研究・教育等支援事業

(決算額 21,126,822円)

(1) 医学研究等支援事業

(決算額 2,563,000円)

医学・医療研究者の研究成果の発表の場となっている医科大学雑誌の充実を図るために支援を行った。

また、医学研究等の支援選考に係る助成委員会を開催し、支援学会等を選考した。

なお、革新的医薬品等開発支援事業については、医薬品や医療機器の開発に携わる府内民間企業等の開発相談に応じることとしていたが、相談依頼がなかった。

医学研究等助成委員会開催状況

開催年月日	議 題 等	結果
令和5年10月4日	○学会等支援事業の学会選考について(1件) 京都リハビリテーション医療・介護フォーラム2024	承認
令和5年10月24日	○学会等支援事業の学会選考について(1件) 第45回日本肝臓学会	承認
令和5年12月13日	○学会等支援事業の学会選考について(1件) 第78回日本臨床眼科学会	承認

(2) 学会等支援事業

(決算額 14,543,960円)

京都府内で開催される学会等への支援については、助成委員会において選考された学会等に対して、企業、病院、団体及び個人から寄附金を募り、学術水準の向上を図り、京都府の医学・医療の発展に寄与するために学会等開催経費の助成を行った。

- 学会寄附金の状況 寄附受入件数 63件 13,370,000円
- 学会等支援の状況 助成件数 3学会 12,701,500円

○ 令和5年度支援学会

学 会 名		参加人数(人)	開催年月日・会場	上段：開催経費（予算額） 下段：助成額（円）
1	第45回日本肝臓学会	1,500	2023.12.7～8 国立京都国際会館	69,550,000 4,750,000
2	京都リハビリテーション医療・介護フォーラム2024	500	2024.2.4～5 京都産業会館	7,350,000 3,610,000
3	第78回日本臨床眼科学会	8,500	2024.11.14～17 (予定) 国立京都国際会館	317,696,000 4,341,500 <u>※寄附金受入継続中</u> (令和5年決算分)

(3) 医学教育等支援事業

(決算額 4,019,862円)

(ア) 国際交流支援事業

(決算額 312,845円)

外国人留学生の交流の一環として、阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センターでの研修会の実施や外国人留学生の大学生活支援のため京都府立医科大学周辺地域の日英語版マップの作製等に係る経費について支援を行った。また、オランダのマーストリヒト大学からの京都府立医科大学 Double Degree Program 修士課程修了者6名に記念品（大学関係グッズ）を贈呈した。

(イ) 地域医療・教育推進支援事業

(決算額 2,852,460円)

例年、京都府内において活躍が期待される医療従事者を育成することを目的に、京都府及び京都府立医科大学と当振興会が三者共同で「地域医療機関滞在型教育推進事業」を実施し、その経費の一部を支援しているが、令和5年度はコロナ終息を踏まえ滞在期間の短縮により必要経費は京都府からの補助金で賄われたため、当会からの助成を行わなかった。

その他、府内の「災害派遣医療チーム（DMAT）への活動支援」を目的に、チームを有する5指定医療機関に対して活動に必要な機材等の購入に助成を行った。

(ウ) 女性医師研究支援事業 (決算額 854,557円)

例年どおり、京都府内の医学研究に取り組む女性医師が育児、出産、介護、通院等と両立させながら、研究活動を継続できるよう、研究補助員を臨時的に雇用する経費の一部を支援した。(支援対象研究者5名)

2 医学医療、啓発普及支援事業 (決算額 2,738,000円)

(1) 医学講演会等開催事業 (決算額 2,021,000円)

京都の医学・医療史の編纂広報に向けて、令和4年度の「療病院・医学校新史」に引き続き京都府立医科大学の医学史の専門家に執筆を委託した。今後、ホームページ等に掲載し、広報を実施することとしている。

- ・テーマ：「明石博高と京都療病院」「駆黴院と癲狂院」「看護と助産」
「施薬院と東寺濟世病院」

○ 最先端がん治療についての啓発普及

府民に最先端の「がん治療」について知っていただくため、その代表治療例として、令和3年度に作成した体にやさしい陽子線治療を紹介するPR動画（「がんと陽子線治療」「陽子線治療の流れ」）を活用し、「リビング京都」や「名医のいる病院」（医療新聞社）等を利用した府民広報事業を実施した。

(2) 健康増進・啓発普及支援事業 (決算額 717,000円)

京都府立医科大学創立150周年記念事業が終了したことから、京都府立医科大学や他団体等からの助成や協力依頼がなく、該当する事業がなかった。(調整事務経費を計上)

3 寄附財産資産管理事業

(決算額 5,447,943円)

故松本夫妻の寄附資産の不動産等を管理するとともに、早期の売却に向けて敷地の境界確定及び鑑定評価等を行った。

松本夫妻 医学振興会寄附資産一覧 (R6.3.31時点)

(単位：円)

	夫妻分 寄附累計額(A)+(B)	璣子氏寄附資産分 (A)	仁介氏当初寄附分 (B)	仁介氏寄附資産 現在高 (C)	夫妻寄附資産 現在高(A)+(C)
現金	252,179,995	127,748,073	124,431,922	124,431,922	252,179,995
(生保) R3.10.4受領	50,039,164	50,039,164	0	0	50,039,164
R3.11.17受領	77,708,909	77,708,909	0	0	77,708,909
H26.7.25受領	9,350,904	0	9,350,904	9,350,904	9,350,904
H26.3.10受領	115,081,018	0	115,081,018	115,081,018	115,081,018
土地 R3.11.4受領	94,581,475	94,581,475	0	0	94,581,475
H26.3.6受領	102,713,682	0	102,713,682	102,713,682	102,713,682
建物 R3.11.4受領	7,530,200	7,530,200	0	0	7,530,200
H26.3.6受領	4,724,700	0	4,724,700	2,362,350	2,362,350
合計	461,730,052	229,859,748	231,870,304	229,507,954	459,367,702

【Ⅱ その他の事業】

【決算額 7,456,827円】

1 「学術雑誌」の発行・会員等への配付事業 (決算額 3,130,542円)

明治30年以降、会員の原稿を基に刊行されている医学研究誌「京都府立医科大学雑誌」の発行を受託して会員等に配布した。

① 発行回数等 毎月25日発行 年間12号

② 配布先

区 分	年間配付延べ部数	月平均配付部数
普通会員	8,200	683
賛助会員	1,429	119
他大学等図書館	528	44
法人団体	456	38
広告会社	29	2
その他	1,038	86
合 計	11,680	973

③ 掲載内容

区 分	年間件数	区 分	年間件数
総説・原著	9	集談会抄録	62
症例報告	5	博士論文要旨	71
部門紹介	11	特集	36
病院だより	15	その他	37
		合 計	246

2 学術情報（医学）提供事業 （決算額 3,634,339円）

京都府の地域医療水準の向上並びに医学研究の発展に資することを目的に、本事業に加入の京都府立医科大学関係病院等協議会及び京都府医療センターに加入の病院や診療所等の医療従事者に対し、京都府立医科大学附属図書館と共同で同図書館、他大学等図書館などが所蔵する医学に関する学術情報を提供するとともに医学学術情報支援データベースの購入を支援した。

① 会員の状況

区 分		会員数
4年度からの継続会員数		60病院
5年度	新規加入会員数	0病院
	退会会員数	1病院
合 計		59病院

② 医学学術情報の提供件数等

区 分	提供件数等	提供コピー枚数
附属図書館所蔵の学術情報	560件	2,324枚
学外図書館所蔵の学術情報	267件	1,242枚
合 計	827件	3,566枚

③ 医学学術情報支援データベース

・メディカルオンライン

3 医学教育（解剖）支援事業 （決算額 691,946円）

解剖による医学教育は、医師の養成、死因の原因追究、病因の病態解明など医学・医療の進歩、発展に不可欠であり、ご遺族に献体をお願いしている。

このため、ご献体に感謝し、医学研究者、医学生等の関係者による納骨式、追悼式を開催した。

なお、5月の春季追悼式（納骨法要）については、大学墓地への納骨者のご遺族のみの参列とし、また、10月の秋季追悼式については、4年ぶりに医学科、看護学科学生も参列して執り行った。

区分	開催日時	場 所	参列者数		納骨・解剖件数	
春季	平成5年 5月20日（土） 午後2時～3時	安養寺 （左京区 栗田口）	遺族	13名	納骨	16体
			教職員等	30名		
			計	43名	計	16体
秋季	令和5年 10月14日（土） 午後2時～3時	西本願寺 御影堂	遺族	155名	病理解剖	25体
			教職員等	47名	系統解剖	32体
			学部学生等	198名	法理解剖	175体
			計	400名	計	232体

【Ⅲ 法人活動】

【決算額 12,082,983円】

1 役員等の異動（再任は除く）

（1）代表理事

（令和5年6月20日付）

就任 夜久 均 （京都府医学振興会理事長）

退任 竹中 洋 （京都府医学振興会理事長）

（2）理事

（令和5年6月20日付）

就任 佐和貞治 （京都府医学振興会副理事長）

退任 竹中 洋 （京都府医学振興会理事長）

（3）評議員

（令和5年6月20日付）

就任 河田光博 （京都府立医科大学学友会長）

退任 井端泰彦 （京都府立医科大学前学友会長）

就任 加藤則人 （京都府立医科大学医療センター所長）

退任 大辻英吾 （京都府立医科大学前医療センター所長）

2 会議等

(1) 理事会

開催年月日	議 題 等	結果
令和5年5月29日	<ul style="list-style-type: none"> ○令和4年度事業報告及び収支決算について ○理事長及び理事の交代について ○令和5年度定時評議員会の招集及び提出議案について ○ドナルド・マクドナルド・ハウス用地に係る協議資料の作成業務委託の執行について ○委員会委員報酬等の支給基準改正について 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・理事長、副理事長及び常務理事の職務の状況について ・故松本仁介、璽子氏遺贈寄付不動産売払いに係る進捗状況について 	可決 可決 可決 可決 可決
令和5年6月20日	<ul style="list-style-type: none"> ○代表理事、業務執行理事の選任について ○公益財団法人京都府医学振興会顧問に関する規程の制定について ○顧問の選任について 	可決 可決 可決
令和5年10月30日	協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・故松本仁介、璽子氏遺贈寄付不動産売払いに係る準備状況及び売却方法について 	
令和6年3月11日	<ul style="list-style-type: none"> ○令和5年度収支予算の補正について ○特定費用準備資金の令和5年度の取崩しについて ○令和6年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みについて 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・不動産売却に係る状況及び今後の進め方について ・ドナルド・マクドナルド・ハウス 京都開設に向けた経過等について 	可決 可決 可決

(2) 評議員会

開催年月日	議 題 等	結果
令和5年6月20日	<ul style="list-style-type: none"> ○評議員の選任（交代）について ○理事及び監事の選任について ○評議員及び役員報酬等の支給の基準改正について ○令和4年度事業報告及び収支決算について 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度事業計画、収支予算について ・令和5年度事業の進捗状況について 	可決 可決 可決 可決

3 会員の状況

区 分		普通会員	賛助会員	合 計
継 続 会 員 数		6 9 9	1 2 1	8 2 0
新 規 会 員 数		3 9	0	3 9
退 会 会 員 数		1 8	0	1 8
合 計		7 2 0	1 2 1	8 4 1
内 訳	会費納入済会員	5 4 4	1 2 0	6 6 4
	会員継続意思確認中会員	1 7 6	1	1 7 7

4 法人事業

長年にわたり、当法人に対して多大な寄附をいただいた故松本ご夫妻の功績を称えるため、顕彰の位置づけとして、松本御夫妻の生い立ち、起業、事業の成功、そして社会貢献という激動の人生を後世にも残るような形で4年度に文章したものを冊子として作成し、関係者等に配布を行った。

また、「ドナルド・マクドナルド・ハウス 京都」の誘致及び募金活動を支援した。